

3-16 油壺地殻変動観測所・旧観測坑における傾斜観測 (1949~1981)

Observation by Watertube Tiltmeter at a Former Tunnel of Aburatubo Crustal
Movement Observatory from 1949 to 1981

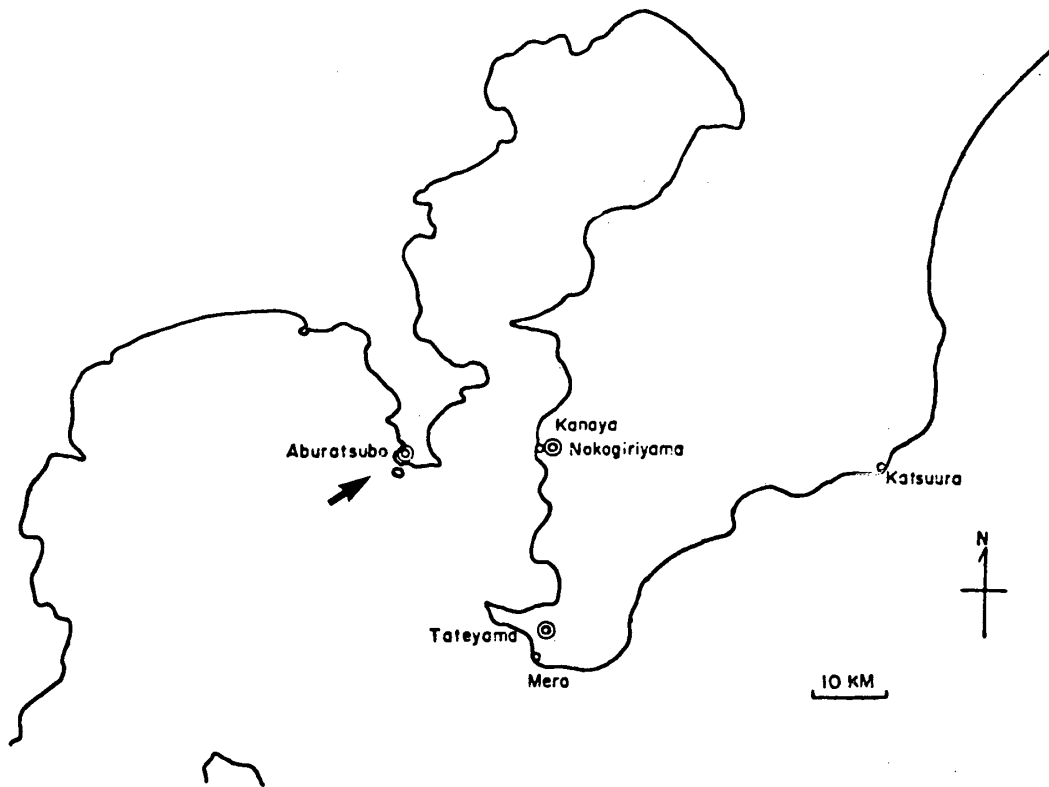
東京大学地震研究所 油壺地殻変動観測所

Aburatubo Crustal Movement Observatory,
Earthquake Research Institute, The University of Tokyo

東京大学地震研究所の油壺地殻変動観測所が開設されたのは1947年であった。旧観測坑には水管傾斜計，水平振子傾斜計，伸縮計などがセットされ1981年まで観測が継続された。第1図に観測点の位置を示し，第2図に観測坑の平面図を示す。ここでは1949年から1981年までの読み取り式水管傾斜計による観測結果を報告する。1日2回の読み取りで大部分は毎日観測されたが一部1週間に1日の期間もある。第3図は1949年から1981年までの日平均値のプロットである。全期間の観測結果とそれを3期間に分けたプロットを示してある。第4図は藤田・海津（1985）による三浦半島における水準の結果と水管傾斜計による結果の比較である。

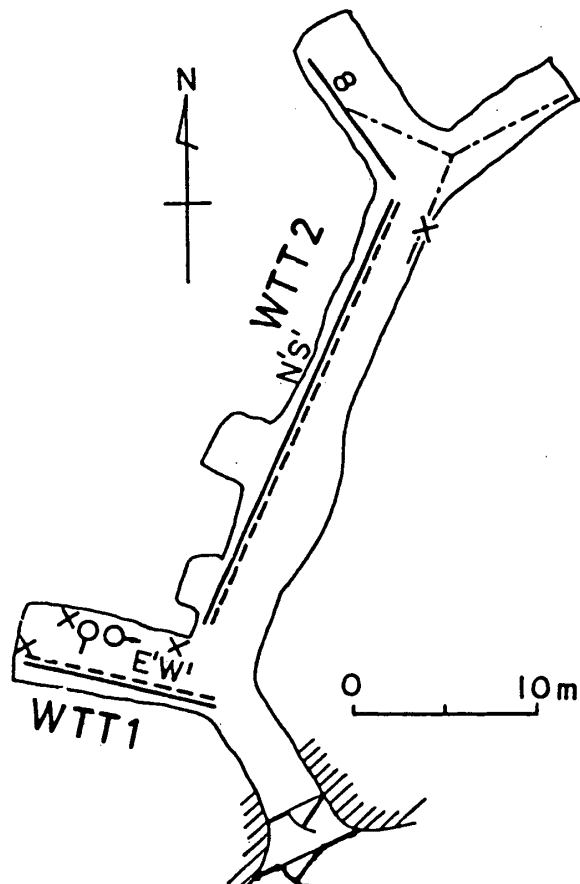
参 考 文 献

- 1) 藤田尚美・海津優：南関東の上下変動—クリープ面の存在—，測地学会誌，31（1985），333-339.



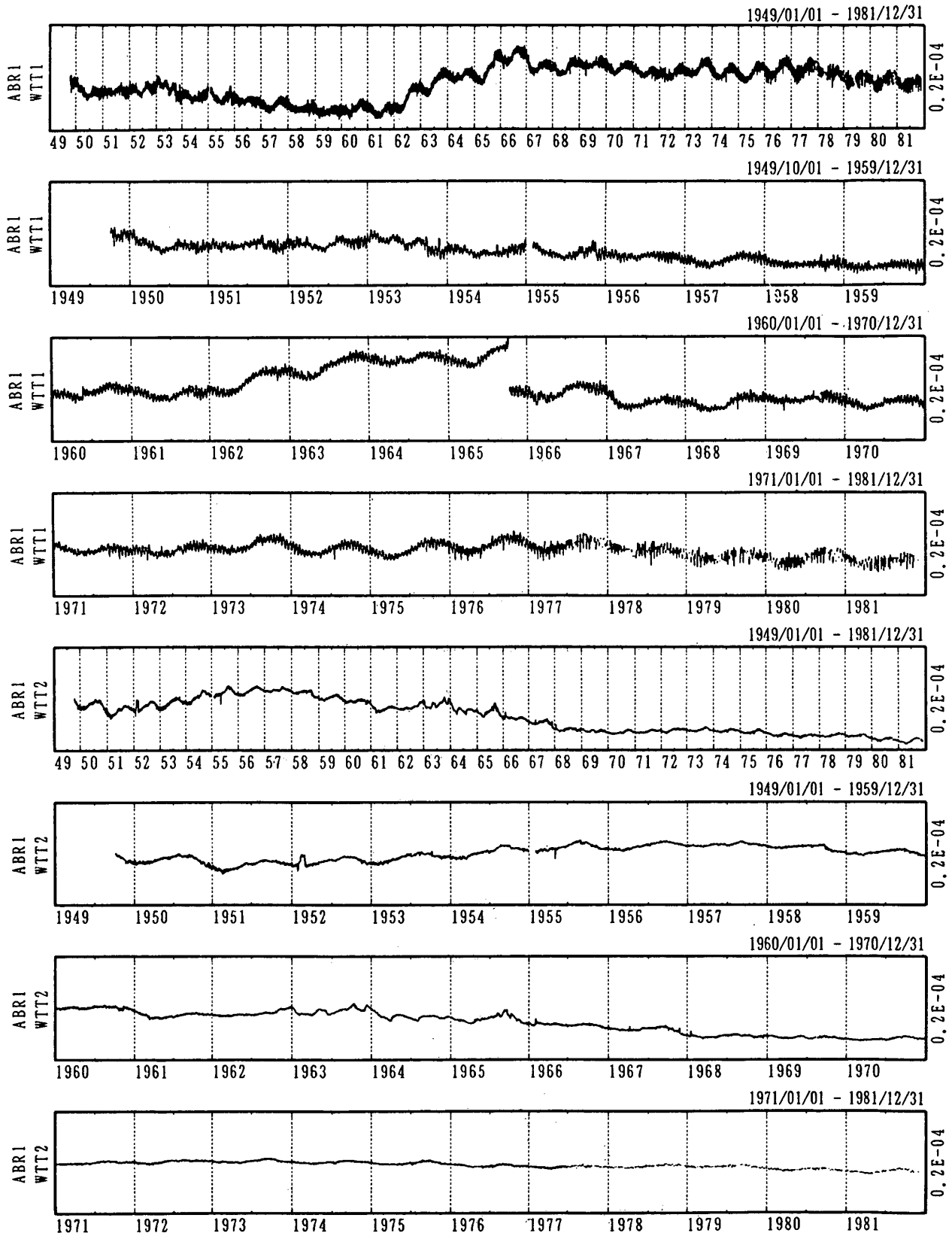
第1図 油壺地殻変動観測所の位置

Fig. 1 Location of Aburatubo crustal movement observatory.



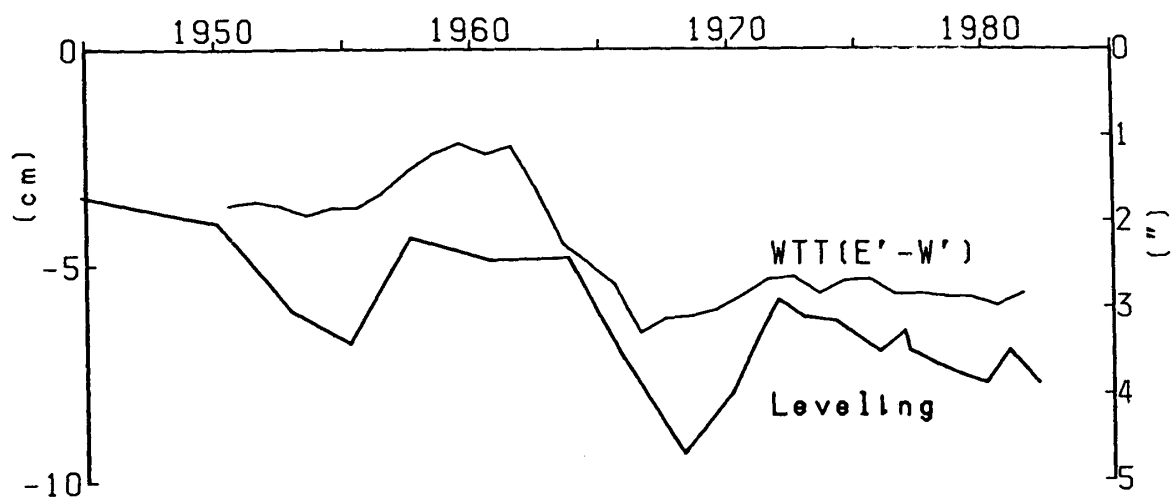
第2図 油壺地殻変動観測所・旧観測坑の平面図

Fig. 2 Plane figure of a former tunnel of Aburatubo crustal movement observatory.



第3図 1949年から1981年までの水管傾斜計による観測値の日平均値のプロット

Fig. 3 Daily mean plot of data observed by watertube tiltmeter from 1949 to 1981.



第4図 水管傾斜計による観測値と水準測量結果（藤田・海津，1985）との比較

Fig. 4 A comparison of data observed by watertube tiltmeter and data by leveling survey (Fujita and Kaizu, 1985).